



## みちのく潮風トレイル Michinoku Coastal Trail

### 「みちのく潮風トレイル」とは？

6月9日に「みちのく潮風トレイル」が全線開通しました。

みちのく潮風トレイルは、青森県八戸市蕪島から福島県南相馬市松川浦までの海岸線を中心に設定された「歩くための道」です。

環境省の東日本大震災復興プロジェクトの一環として、東北の太平洋沿岸を一本の道でつなぎ、自然や景観を大切にすることや震災の記憶の伝承を目的に作られました。

### 本市の特徴は「島巡り」と「まちあるき」

東松島市から船で本市浦戸諸島まで渡る「奥松島・浦戸諸島 島巡りコース」では、奥松島から浦戸諸島にかけて、日本三景松島湾の、白く輝く凝灰岩が織りなす見事な景観を望むことが出来ます。

また、東北の歴史と文化を肌で感じることができる「1300年の歴史を訪ねるコース」では、本市市街地を歩きます。

詳しくは、ホームページをご覧ください。(http://tohoku.env.go.jp/mct/)

問 観光交流課観光係 ☎364-1165

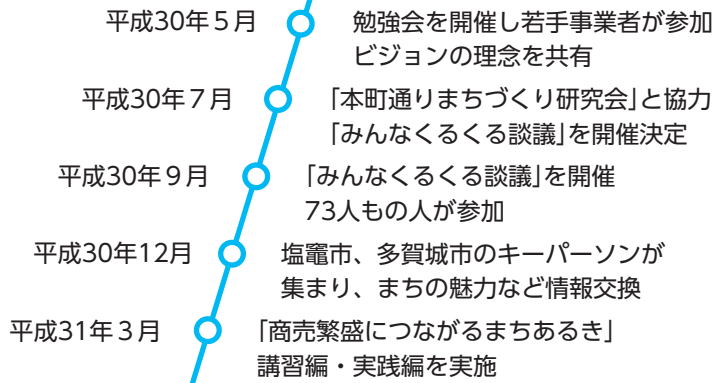


## みなと塩竈 海保カレー 提供店

塩釜商工会議所では観光振興の一助として「みなと塩竈海保カレー」の提供に取り組んでいます。提供店は以下のとおりです。

- 武田の笹かまぼこ 塩竈本店(港町)  
S-PAL仙台店(仙台市)
- TAVERNAGIRO(海岸通)
- ホテルグランドパレス塩釜(尾島町)
- 食事処 大國屋(港町)
- 酒ダイニングかじきや(尾島町)

問 塩釜商工会議所 ☎367-5111



「つなナジshop」はなまはなつ

平成31年3月には、観光客に地域の魅力を満喫してもらうため、商店などが「つなナジshop」を開始しました。参加店が相互に連携し、お薦めスポットや他店の紹介などをする「まちなか案内」を行います。効果的な案内をするために、講習会と実際にガイドをする研修会も開催しました。

講習会では「自分にとっての当たり前が観光資源。それを認識するのが『ガイドの視点』のスタート」という話があり、参加者は、ガイドをすることで、改めて自身のお店や塩竈の魅力を見つめ直していました。



▲店頭のフラッグが目印

塩竈をもっと好きになり、塩竈に誇りを抱く「シビックプライド」

「塩竈市観光振興ビジョン推進委員会」の活動を中心に紹介してきました。このように、観光客を受け入れる人たちがつながり、市に関心を向け、魅力を発信しています。さらに、市の魅力を発信するには、市内で生活するみなさんの力が必ずやります。

市への愛着や誇りを抱くことを「シビックプライド」と言います。このシビックプライドを持つには、市のことを知り、好きになってもらうことが必要です。好きなことは誰かに教えたくなります。皆さんが発信した情報をきっかけに、塩竈市に初めて関心を持ってもらえるかもしれません。

塩竈をもっと好きになり、塩竈に誇りを抱く。そんな人を一緒に増やしていきたいませんか。



otomo. 大沼さん  
(塩竈市観光振興  
ビジョン推進委員)

活動してきたものを一つ形にしようと思い、花灯りのときに店を開けることにしました。神社や酒蔵を巡った後に寄れる店があることで、まちのにぎわい創出につながったと思います。

今までは、塩竈市への思いを持った人たちが、それぞれ活動していましたが、観光振興ビジョンを通して、一緒に活動できるようになったと感じています。